

岐大通 2010

2010J.League Division2 第2節 ジェフ千葉 戦

8/22(日) 18:00~ @長良川球技メドウ

押谷 2 発！菅和範「岐阜だけで」10試合出場」の祝砲。 水戸 1-2 岐阜【第2節】

F C 岐阜はアウェイで水戸と対戦し 2 対 1 で逆転勝ち。前半に押谷選手がゴールを決めて 1 対 0 と先制するも後半開始直後に同点に追いつかれ、苦しい展開に。しかしすぐさま押谷選手のゴールで 2 対 1。アウェイでの勝利は大きいね。次も勝って少しでも上へ！これからもサポーターが F C 岐阜の応援を。F C 岐阜頑張れ！（ハマッチ）

「not his day」（今日は彼の日じゃない）

そんな慣用句が、イングランド辺りにはあると聞いたような気がする。特に絶好機を迎えながら、バーに当たったりポストに嫌われたり、G K が神セーブしたりで得点できなかった F W に対して言うらしい。まあ、平たく言えば「なんて、ツイてないんだ……」。そんな感じかな？

その伝で言うと、水戸戦での 2 7 番は「今日はボクの日！」ということになるんだろう。2 点どころか、下手をすれば（笑）ハットトリックができそうなくらい、たくさん訪れるチャンス。その多くを逃しながらキッチリ得点を重ねチームに、そしてサポーターに再開後の初勝利をプレゼント。秋田との「あうんの呼吸」から抜け出した 1 点目。鮮やかな……というより、水戸の両 C B にとってウナギをつかみ損なったかのような、ぬらりとした抜け出し。もしくは筒から押し出された「ところてん」のような、とでも言うべきか。そして、特筆すべき 2 点目のゴール。右サイドでの橋本、優大、正吾のパス交換。そして、機を見計らったの優大の縦パスを受けてゴールに向かう押谷。ところが、彼にありがちな（苦笑）ドリブルのミス。囲んできた水戸の D F は延べ 4 人。好機はついでたか？に見えたのだけど、なぜかボールは彼の足元に。現地で、それも目の前で見てても、そして録画を見直した今も信じられないような状況が起きる。D F は前に 2 人、後ろに 1 人。その前にいる 2 人ばかりか、さらにカバーに来た D F の、まさに体をすり抜けたような感じでボールは押谷の前に。究極のごっつあんゴールだよね？敵からのプレゼントだもの。それにしても、最後に走りこんで来た D F はスライディングをしてくるのに、その下を抜けてくグラウンダーのボールがあるんだねえ。浮き球とか、弾んで体の上を越えていくのならまだわかるんだけど。インタビュー終了後、ゴール裏に挨拶にきてくれた彼自身も、なんだか面映いような照れくさそうな表情で、「ラッキーだったなあ〜」と思ってたんじゃないかな？たぶん。

ホント、スタジアムが変わっても水戸にはイイ思い出しかない。そういえば、水戸もエースが抜け、経営や観客動員に苦労しているクラブ。どこかにもそんなクラブがあったような……（苦笑）。それでも、押谷はもちろん、チームにとっても、サポーターにとっても、ずっと待ち望んでいた勝ち点 3。今度の相手は昇格圏内に付ける上位の千葉だけれども、勢いに駆って黄色を真っ青にしてやりたいね！（ぐん、）

岐阜を朝 6 時近くに出て、「青春 18 歳っぷ」で向かった水戸。その日は普通（快速）列車の車内に 1 時間。上野に着いたのが夜 1 時。5 時前に起きて、東京駅 6 時の『のぞみ』1 号に乗って 8 時前に名古屋に着き、そのまま出勤。やはり、このトシだと堪える（苦笑）。でも、そんな月曜日を乗り切れたのは、もちろん「F C 岐阜が勝ったから」に他ならない。

前半の入りは岐阜が良かったように思う。その、いい時間帯に先制出来たのがよかった。それから前半終了までは水戸の時間帯だったけど、そんなにアグレッシブに動き回ると、後半途中でバテてくれそう。だから、いわゆる“危険な時間帯”を凌ぎきれば……。と、後半開始 20 数秒だかの「秒殺ゴール」で同点にされる。先週の熊本戦（先制点から 2 分くらいで同点にされた）と同じ“危険な時間帯”の失点。やれやれ……。

しかし、この日のぼくらには『押谷祐樹』がいた。いや、いつもいるんだけど（笑）、この日はどうしてもこう強調したい。おいおい何人抜くんだよ、最後は相手 D F のミスまで味方してくれて。やはりボール扱いのうまさはチーム随一だね。正吾の疲れが顕著になってきて、永芳が入ることで押谷が F W に上がったけど、あの突破力は 2 列目の方が炸裂しやすいんじゃないかな〜…とか思ったり。後半途中には予想通り水戸もバテてくれた。帰宅して録画を視聴してみると試合終了間際には結構攻め込まれたようだけど、反対側のゴールだったのでわからず（苦笑）。でも、クリアボールをすべて拾われての絨毯爆撃を浴びてる感じには見えなかったね。

「押谷がいた方が勝った」という試合だった。けど、数分間の出場ながら 10 試合出場を達成したキャプテン・カズノリを勝利で祝うことが出来てよかった。（吉田 铸造）

today's guest

ジェフ千葉

2009 J1 第 18 位

J2 通算対戦成績 : 0 勝 0 分 1 敗

2009 成績

天皇杯 09/11/15 岐阜 1-0 千葉

2010 成績

第 0 節 10/04/25 千葉 2-0 岐阜

2010J2 暫定順位表 第 2 節

（*は消化試合が 1、&は 2 少ない）
勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	柏	48p	+26	39	13	H
2	甲府	44p	+16	38	22	H
3	千葉	39p	+19	40	21	A
*4	福岡	34p	+15	33	18	A
5	東京 V	33p	+6	22	16	H
6	栃木	32p	+8	29	21	A
*7	鳥栖	31p	+2	26	24	A
8	徳島	31p	-1	28	29	A
9	熊本	31p	-4	20	24	H
10	横浜 FC	29p	+3	34	31	A
11	札幌	26p	-2	23	25	H
12	岐阜	26p	-10	19	29	---
13	草津	23p	-10	20	30	H
14	愛媛	22p	-7	16	23	H
*15	大分	22p	-8	24	32	A
&16	水戸	21p	-6	15	21	H
17	岡山	19p	-13	11	24	H
18	富山	19p	-16	23	39	H
19	北九州	12p	-18	11	29	A

次回 HomeGame

第 2 節
ギラヴァンツ北九州戦

9/12(日) 16:00

@長良川球技メドウ

投稿募集！

gidaidohr@hotmail.co.jp

F C 岐阜大好き通信（岐大通）

8/22号

編集発行：『岐大通』製作委員会

今号の製作担当：ささたく & 吉田 铸造

編集子より

ご愛顧いただきありがとうございます。
今シーズンは 2 年ぶりに「全ホームゲーム」での発行を目標にしますので、よろしくお願致します。



本庄工業株式会社

http://www.honj-woodream.com/

ALADDIN

何も無い店だけと・・・心の化か吐く・・・
何も無い店だけと・・・心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町 3 丁目（木ノ本公園東）

課題が露わになった試合。 勝ち点1を得たのか、2を失ったのか。 岐阜1-熊本【第2節】

FC岐阜は長良川で熊本と対戦し1対1で逆転負け。嶋田選手がゴールを決めて1対0と先制するもすぐさま藤田選手にゴールを決められての引き分け。サポーターとしては悔いの残る試合……。とにかく今は我慢の時。これからサポーターがFC岐阜の応援を。FC岐阜頑張れ！（ハマッチ）

夏バテなのだろうか。これで中断明けは3試合未だ勝利がないこととなった。

6位に位置する熊本は G南雄太、FWカレン・ロバート、かつて国見高のエースだった松橋章太や、ベテランM藤田俊哉とタレントは揃っており、個人的には興味をそそられるチームだ。

しかし立ち上がりから目を引いたのは、熊本24番の筑城のウイングのような中途半端なポジションだった。ほとんどタッチラインにへばりついているといっても過言ではないような位置にポジションを取っており、これが熊本の戦い方なのかは分からないが、ここから起点を作られていたのは事実だ。

システムの食い違いもあるだろうが、かなり筑城はフリーでボールを持つ場面が多かった。ただ、これは選手や監督ではないので確かなことは言えないが、気を取られていたり、マークをつけているのは、「自分たちの戦い方を変える、あるいは放棄することになる」というニュアンスだったと思う。逆に考えれば、背後には広大なスペースが開いているのだから、ここを突くなどして得点しておきたかった。サッカーは流れのスポーツだ。筑城から作り出される攻撃の対応に追われ、守備に奔走した事により、後半は苦しむことになるのだが...

とにかくパスが繋がらない。足元、足元でフリーの味方が見えていなかったり、スペースへのパスが少なくなっていた。結果、すぐボールを失い、カウンターを喰らうというシーンを繰り返していた。

これは前半守備で疲弊させられた事により、判断力や運動量が低下したためだろう。個のタレントでは熊本の方が上だから仕方ない面もあるが、セットプレーなどのチャンスを生かせなかったのも事実。せっかく先制しても、数十秒後に水泡に帰す、というも「流れ」を逃し続けた結末だろう。まったく勝機がなかったわけではない。自ら「勝ち点2」を失ったのだと筆者は考える。

さて、今こそシュートを積極的に打つことを提言したい。20節の富山戦、2失点目はゴール前シュートに持ち込めず、奪われたボールをそのままカウンターにつなげられ決められたものだった。「シュートを打つ」というのは、同時に「相手のカウンターを阻止する」という意味もある。何とかシュートで終わる回数を増やしていきたい。この夏場をどう乗り切るかで、今シーズンが決まるだろう。

(来シーズンは熊本に馬刺し食いに行く)

先制したまでは良かったのですが、それで気が緩んだのでしょうか、直後に失点したのは猛省すべきだと思います。失点しても取り返すような決定力があればいいのですが、なかなか決まらなかったですね。

あと、今回に限った事ではないのですが、ゴール前でパス回しをする事。相手の守りが堅い事もあるでしょうが、「外れてもいいからとにかく打とうよ」と何回も思いました。連敗は回避できましたが、まだまだ甘いところが多いだな、と思った試合でした。(ブラウ@翠魂)

岐阜と熊本はJリーグ昇格同期。昨年の最終順位は岐阜が上だったが、今年は熊本が好調。しかし、それでも負けたくない相手。今節出場停止の田中に替わり、C秋田...は想定どおりだったが、両SBが初出場の村上・新井だったのには驚いた。しかも、新井は大宮からの加入が先月下旬に発表されたばかりの選手。まだ1ヶ月経っていないのに、チームに馴染んでいるのか？と少々不安に。

結論を言えば、両SBは無難に役割を果たしていたかな、と思う。しかし...中断期間にV杯を観ていたためだろうか(苦笑)、何かパスミスが多く感じてしまう。折角ボールを奪っても、不用意なミスでボールを奪われて、再び攻められ...しかも、自信のなさを反映してか、勝負せずにバックパスをしたり、シュートで終われなかつたりするので、なかなかスタジアムが沸くような展開にならない。

それでも、熊本に対して何度か良い場面を作り、遂に後半14分に正吾が左足を振り抜いて先制ゴール！沸き立つスタジアム。ところが、だ。選手達の雰囲気には何か不安を感じて「油断するな！」と叫んでいたのだが...熊本がキックオフ直後のワンプレーでゴール前に一気に押し寄せ、藤田が同点ゴール。先制ゴールの余韻も冷めないスタジアムに満ちる悲鳴と怒号...。公式記録では1分後となっているが、プレー自体は10秒未満じゃないだろうか。完全に油断だ。まあ、そこを見事に付いてくるベテラン藤田俊哉は流石、と言うしかないのかもしれないが、同点に追いつかれてからは完全に熊本のペースだったが、結局、そのまま試合はドロー。公式記録でのシュート数は、熊本の13本に対し、岐阜は6本。録画をチェックしてみたが、先制ゴールの後は1本も撃っていないことになる。むやみやたらと撃てば良いってものでもないと思うが、勝利のためにはゴールが、ゴールのためにはシュートが必要だ。もっと勝利への執念を、「シュート」という形で見せてほしい、特にホームでは...そう感じた試合だった。(ささたく)

結果はドロー。それでも、点が取れたのはよかった。サッカーで追いつかれたのが残念だけど、「入りの5分、ラストの5分」とともに失点しやすいと言われる得点直後。納得はできないけど、仕方ないのかな？ラグビーで言うところの「ノーホイッスル・トライ」いや、実にお見事。

それにしても、もったいない試合だった...、と強がってみる。特に押谷。前半のトリッキーな切り返しから抜け出しを図ったプレー。あそこで、しっかりコントロールが出来たら...。あるいは、後半20分頃。誰かの縦パスに、一瞬躊躇してチャンスを逃した場面。実にもったいないなかったな。でも、押谷を責めるワケじゃない。今日は(も)攻撃だけじゃなく、いわゆる献身的に守備もやってくれていた。だから疲れも溜まっていたんだろう。終了間際のFKが、宇宙開発になってしまったことを一番悔しがってるのは、彼だと思う。結局、ウチのチャンスは押谷とか正吾が絡むケースが多いような気がする。そこで、一気に仕留めないとキビシイよね。ただ、冷静に見ると「よく一点で耐え凌いだ試合」とも言えるかな？前半にも後半にも訪れた「熊本タイム」クリアしてもボールを拾われ、CKのリフレイン。「下手でよかった~」と思うくらい外してくれたけど(爆)、彼らが上位につける理由はわかるような気がする。俊哉を筆頭に南、カレン・ロバート。いい補強をしてるよね。でもって、今日いちばんジャマだったのが26番。平木。も~、なんてえの？「ウチにくれっ！」そんな感じ(笑)ホント、熊本は的確な補強してると思う。

そして、岐阜としてシミジミ感じるのが「エースの不在」。和正やアツシのような選手がいないことを、今季はずっと背負って、歯がゆい思いをしつつ試合に臨まなきゃいけないんだろうね。悲観的かもしれないけれど、これからも厳しい試合が続くんだろうな。でも、だからこそ現地で支えたい。そんな気持ちになろうってのもんだ。(ぐん、)

「いらっしやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅
から徒歩3分。
休：日曜日
(今日はお休みです)

